

千葉市立海浜病院を受診された患者さんへ

当院では下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせ下さい。

研究課題名 (研究番号)	切除可能膵癌に対する術前化学療法における胆道ドレナージ法の 多施設共同前向き観察研究 (No. 2020-12)
当院の研究責任者 (所属)	野本 裕正 (消化器内科)
他の研究機関および 各施設の研究責任者	千葉県がんセンター 消化器内科 辻本彰子 千葉大学医学部附属病院 消化器内科 三方林太郎 千葉県立佐原病院 消化器内科 田中武継 国保旭中央病院 消化器内科 志村謙次 亀田総合病院 消化器内科 中路聡 君津中央病院 消化器内科 吉田有 千葉ろうさい病院 消化器内科 石神秀昭 船橋中央病院 消化器内科 土屋慎 船橋市立医療センター 消化器内科 小林照宗 千葉西総合病院 消化器内科 佐藤晋一郎 東邦大学医療センター佐倉病院 消化器内科 高田伸夫 東京女子医科大学八千代医療センター 消化器内科 濱野徹也 松戸市立総合医療センター 消化器内科 森居真史 聖隷佐倉市民病院 消化器内科 斎藤将喜 千葉メディカルセンター 消化器内科 瀬座勝志 千葉医療センター 消化器内科 宮村達雄 さいたま赤十字病院 肝胆膵内科 大島忠 東京ベイ浦安市川医療センター 消化器内科 本村廉明 東千葉メディカルセンター 消化器内科 亀崎秀宏
本研究の目的	術前化学療法を予定された胆管狭窄を伴う切除可能膵癌の内視鏡的胆道ドレナージ法に関して、本邦での現状を把握し適切な術前胆道ドレナージ法を明らかにすることを目的としています。
調査データ 該当期間	2020年6月から2021年9月までの情報を調査対象とします
研究の方法 (使用する試料等)	対象となる患者さん 2020年4月～2021年3月の間に切除可能膵癌と診断され、術前化学療法や内視鏡的胆道ドレナージを受ける患者さん 利用する情報 年齢、性別、血液検査、内視鏡的胆道ドレナージの方法、術前化学療法の内容や手術の方法・結果など電子カルテに記載のある診療記録、検査データを利用します。 使用する試料 なし
試料/情報の 他の研究機関への提供 および提供方法	他の機関への試料の提供はありません 患者さまの臨床情報を診療記録から調査し、得られた結果を研究事務局である千葉県がんセンターに送付、研究事務局で集計し解析を行います。

個人情報の取り扱い	<p>利用する情報から氏名や住所等の患者さまを直接特定できる個人情報は削除致します。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さまを特定できる個人情報は利用しません。</p>
<p>本研究の資金源 (利益相反)</p>	<p>本研究は、千葉県がんセンター消化器内科の受託研究費(千葉県がんセンターの治験収入から各診療科へ配分されるもの)の一部を用いて行います。また、本研究は、特定の企業、団体からの資金提供や薬剤等の無償提供などは受けておらず、研究組織全体に関して申告すべき利益相反はありません。なお、当院においても本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません</p>
お問い合わせ先	<p>電話：034-277-7711 担当者：消化器内科 太和田勝之</p>
備考	